

地域連携室つうしん



月山富田城跡を上空から撮影

▶ 当院のコロナウイルス感染症対策について

— 院長 水澤 清昭 —



平素は当院の診療につきまして多大なるご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当院では新型コロナウイルス感染症対策としまして、感染に対する恐怖心で再来が困難な患者さまには、電話による再診対応を行っています。また、職員への徹底した感染予防指導を行うとともに、患者さまに対しましても、受診前の自宅での検温やかぜ症状や発熱のある方には来院前の電話相談をお願いしたり、病院入口に消毒薬を配置し、待合の間隔をあけるなどの感染防止対策を行い、少しでも安心して受診していただけるよう努めております。

今回、県の要請により軽症感染者の受入れに利用する病室を準備いたしました。今後とも診療材料の備蓄を含め、不測の事態に対応できるように体制強化を進めてまいりたいと考えております。ご支援よろしくお願い申し上げます。

➤禁煙外来スタート!

— 循環器内科 森 正剛 —

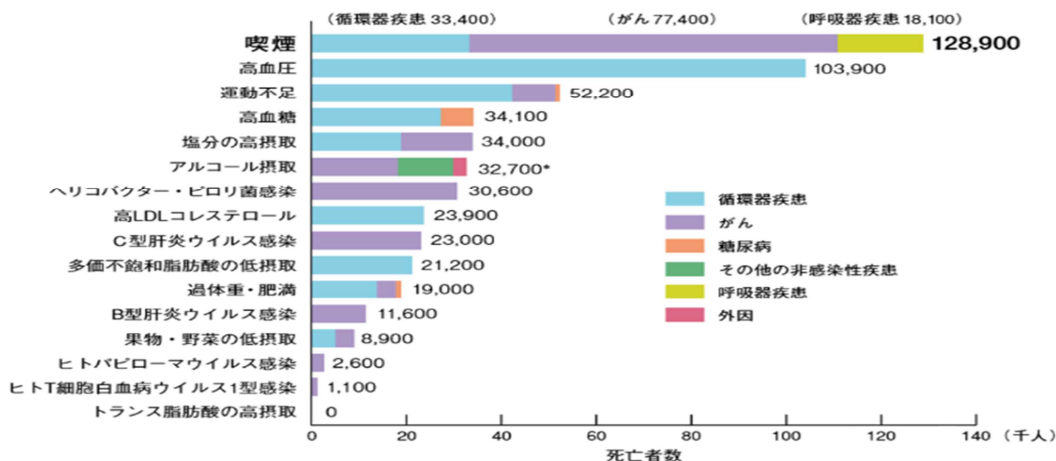


コロナウイルス一色の2020年ですが、先生方におかれましては、日々の診療でお忙しくして過ごしておられることと存じます。いつも当院へご配慮いただきありがとうございます。

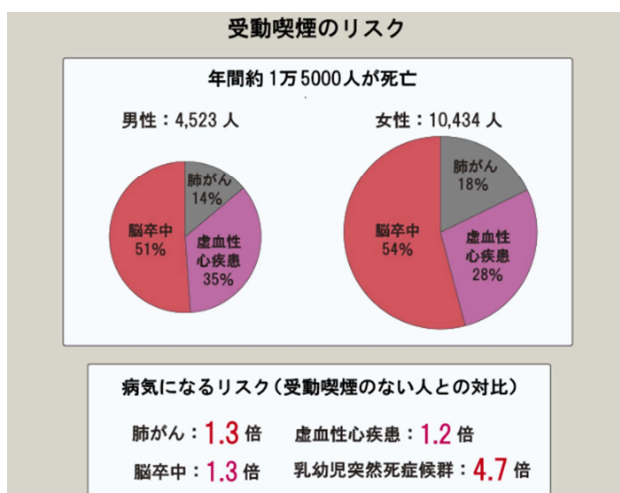
さて4月より、健康増進法の一部を改正する法律が全面施行となりました。受動喫煙防止を大きな目標にかかげ、禁煙を促す法律です。タイミングを同じくし、WHOから、喫煙者は非喫煙者と比較して、新型コロナウイルスへの感染で重症となる可能性が高いという報告がありました(WHO statement: Tobacco use and COVID-19 (2020年5月11日公表))。禁煙の必要性が日に日に高まっております。

地元の皆様の健康増進を図るといふ公立病院の使命を果たすべく、当院では7月より、禁煙外来を開始させていただくことになりました。

厚生労働省によると、日本国内では喫煙関連死亡が、約13万人/年(図1)、受動喫煙による非喫煙者死亡が、約1万5千人/年(図2)と推計されています。そのまま安来市にあてはめると、喫煙関連死が約40人/年、受動喫煙関連死が、約5人/年となります。これは安来市で亡くなられた方の約8%です。12人に1人は喫煙が死亡に関与したことになります。決して看過できない数字です。



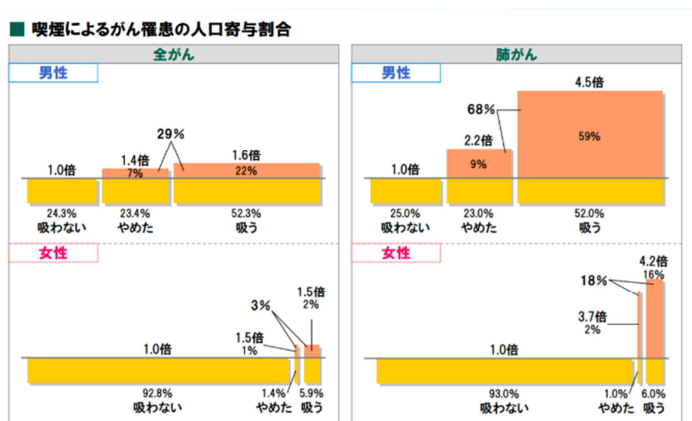
(図1)



(図2)



喫煙は、日本人の男性のがんの約30%、女性のがんの約3%に関与しています。特に肺がんについては、喫煙歴のある男性では2.2~4.5倍、女性では約4倍に、その罹患率が上昇します(図3)。さらにCOPDに罹患しやすく、虚血性心疾患や脳梗塞など、動脈硬化性疾患の罹患率も高くなります。(日本呼吸器学会編「タバコについて考えてみませんか?(改訂3版)」)。



(図3)

健康な生活を目指すには、禁煙は必須の「治療」です。私たち医師が、禁煙教育・指導を行うことは、義務と言っても過言ではありません。35~40歳で禁煙すれば、喫煙前の余命を取り戻せる。50歳で禁煙すると6年、60歳で禁煙すると3年寿命を延ばすことができると言われていています(Doll R, et al. BMJ.2004; 328(7455): 1519)。また、禁煙後、1年で肺機能の改善、5~9年で肺がんリスク低下、10年~15年でさまざまな疾患への罹患リスクが、非喫煙者のレベルまで近づくとされています(イギリスタバコ白書1988)。

しかし、禁煙が難しいのは、私も日々臨床の現場で経験しております。ニコチンへ依存性が、ヘロインやコカインなどの麻薬と同等に高く、逃れるのは簡単なことではないからです。そこで活用をご検討いただきたいのが、当院の禁煙外来です。生活支援・アドバイスを行いながら、禁煙補助薬(バレニクリン、ニコチンパッチ)を必要に応じ処方します。全国集計では、6か月間以上続く禁煙成功率は、自力禁煙に比べて4~6倍高く、禁煙外来治療終了時点で、7~8割の人が禁煙に成功しています。健康保険で治療を受けるには、自らが直ちに禁煙をしたいと望んでいること、スクリーニングテストでニコチン依存症と診断された人など、いくつかの条件があります(2016年4月から高校生など未成年も対象)(図4)。治療費は1日当たり約230円。1日のたばこ代より安い金額です。

健康保険で禁煙治療を受ける要件



要件1
ニコチン依存症診断のテスト(TDS)で、5点以上

+



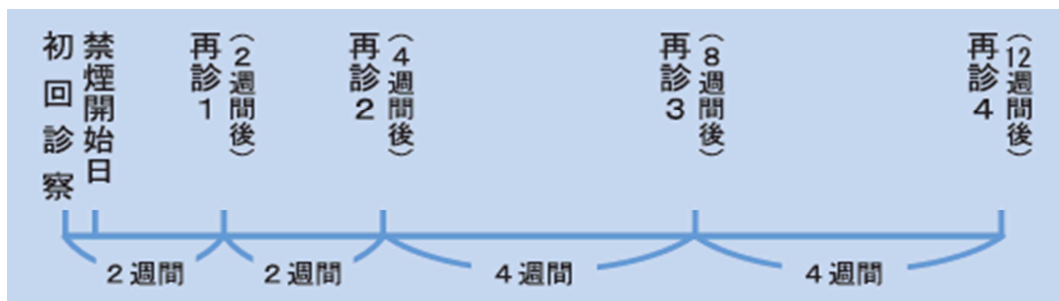
要件2
35歳以上の者については、
(1日の喫煙本数 × 喫煙年数) ≥ 200

上記条件を満たし、本人が禁煙を希望していて、医師から禁煙治療の説明を受け、文書で同意すれば、健康保険で禁煙治療を受けることができます。※35歳未満には2の喫煙本数と喫煙年数による指数の条件なし。

(図4)

禁煙外来は、12週にわたり計5回の診察を行います（図5）。当院では、金曜日に予約制で実施します。禁煙指導で難航する方がおられましたら、当院へご紹介いただけますと幸いです。安来から喫煙・受動喫煙関連死をなくすことを目標に頑張ります！ご支援よろしくお願いたします。

禁煙外来スケジュール



（図5）

➤鳥取大学医学部附属病院からの派遣医師をご紹介します

～今年度、新しく当院に派遣されました医師をご紹介します～

●眼科●

一 三宅 瞳 先生（助教） 一 （毎週木曜日）

専門領域：眼科一般・小児眼科
日本眼科学会専門医

鳥取大学眼科より派遣で、毎週木曜日の外来担当しております。大学では、小児の斜視弱視外来と網膜疾患の外来を担当しています。大学病院と連携しながら、様々な眼疾患に対応していきますので、よろしくお願い致します。



●泌尿器科●

一 弓岡 徹也 先生（助教） 一 （毎週水曜日）

専門領域：泌尿器悪性腫瘍
日本泌尿器科学会専門医
がん治療認定医

毎週水曜日の泌尿器科外来を担当しています弓岡徹也と申します。頻尿や尿もれ、尿が出にくい等の排尿の症状や、前立腺がん、膀胱（ぼうこう）がん、腎臓がんなどの悪性腫瘍も診療しています。気になる症状がある方は是非お気軽にご相談下さい。

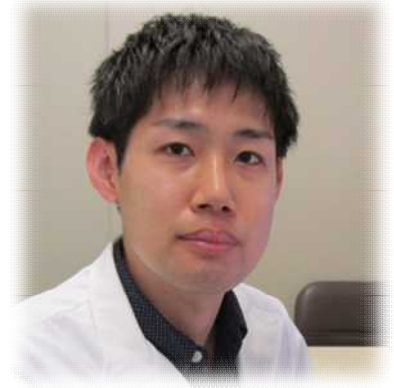


●循環器内科●

— 原田 貴史 先生（医員） —（毎週木曜日）

専門領域：循環器一般

鳥取大学循環器内科からの派遣で、毎週木曜日の外来を担当しています原田貴史です。専門は、循環器系の心不全や不整脈、狭心症などの治療を行っています。気になる症状があれば、相談していただければ対応致します。何卒よろしくお願い致します。



皮膚科 診療日変更のお知らせ

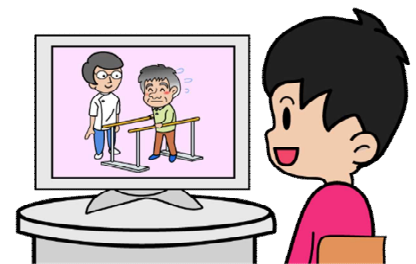
4/1 より皮膚科外来の診療日が毎週月・木曜日に変更になりました

➤当院は、まめネット在宅版をすすめていきます

— 地域連携室室長 竹田 裕司 —

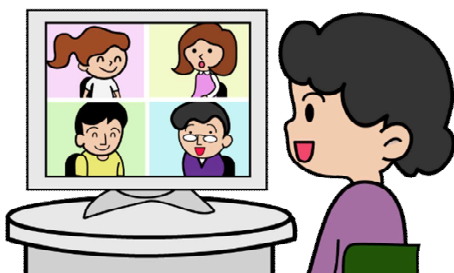
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当院でも、面会制限を行っています。このような場合、退院支援する際に、入院患者が、入院後にADLが変化したり、介護保険を新規に導入をする場合や、介護度が悪化し、再度ケアプランを検討する場合は、直接ケアマネージャーが、入院中の患者の動きを観察することが困難になります。また、退院支援看護師などにより、書面での申し送りなど口頭での説明だけでは、十分とは言えず、短期間で再入院をする症例を経験しています。

非常事態宣言が解除されているところではありますが、ウィズコロナの時代に向けて、感染対策をとりながらの退院支援のあり方も検討することが必要となります。その一つの方法として、まめネット在宅版、連携アプリケーションの一つである「WEB会議サービス」の活用が有効と思われます。これをケアマネージャーと共有することで、タイムリーなリハビリ



リハビリ動画配信

リ場面の動画の配信など、文書、口頭では、伝えきれない患者の動きをケアマネージャーに理解して頂き、ケアプラン作成の一助にして頂きたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。



まめネットでの担当者会

まめネットに関する問い合わせ先
NPO 法人しまね医療情報ネットワーク協会
TEL 0853-22-8058

ONE TEAM

～ 一人はみんなのために

みんなはひとつのために ～



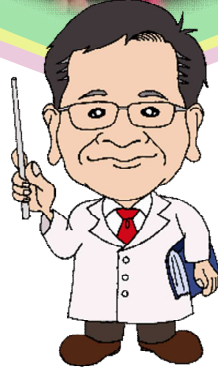
当院の医師が
イラストになった！



水村 Dr.



森 Dr.



水澤院長



田中 Dr.



倉吉 Dr.

地域連携室は
先生方のお役に立てるよう尽力します。
ご依頼お待ちしております！



ご依頼・ご意見はこちらまで

安来市立病院 地域連携室

担当：竹田・田中・長島・阿部・金山

予約受付時間 8：30～17：00

TEL 0854-32-2333

FAX 0854-32-2335